子どもの未来社
新刊案内

児童書ご担当者様　好評発売中！

水辺の安全と子どもたちの命を守る絵本

かっぱのふうちゃん
ライフジャケットでスイスイ

安全教育に役立つ絵本！

朝日新聞朝刊（7月9日）「はぐくむ」で大きく紹介されました！

「子どもが川や海で溺れる事故を防ぐために、ライフジャケットの大事さを広めたい」。そんな思いで約15年間活動する男性が考えた絵本が５月、出版されました。水辺には見た目ではわからない危険があることを、親子で楽しく学べる１冊です。

はぐくむ　13版　2022年(令和4年)7月9日(土)　朝日新聞

はぐくむ

ライフジャケットの大切さ 絵本に

元小学校教諭が企画

「子どもが川や海で溺れる事故を防ぐために、ライフジャケットの大事さを広めたい」。そんな思いで約15年間活動する男性が考えた絵本が５月、出版されました。水辺には見た目ではわからない危険があることを、親子で楽しく学べる１冊です。

タイトルは「かっぱのふうちゃん ライフジャケットでスイスイ」（子どもの未来社、1300円税別）。

「ふうちゃん」は泳ぎが苦手だけど、友だちと泳いでみたい。そんな願いをかなえようとやってきたのは、サンタクロースのような赤い帽子姿の「ライジャケサンタ」。袋の中からライフジャケットをプレゼントして、ふうちゃんと一緒に大事な「おやくそく」を交わしてから、海へ出かけて行き――。

この絵本を企画し、文を担当したのは、元小学校教諭の森重裕二さん（46）。今は家族が営む香川県の石材店で働きながら、SNSなどで水辺の安全についての情報を広めている（http://life-jacket-santa.com/）。

「子どものためにライフジャケットを用意するのは大人の役割。多くの人がライジャケサンタになってもらえたら」と話す。

学生の頃の記憶はカヌーで、水の怖さは身にしみていた。就職後、滋賀県甲賀市の小学校で働き、児童が着るライフジャケットの購入を進めた。

「かっぱのふうちゃん ライフジャケットでスイスイ」の表紙＝子どもの未来社提供

着用方法や水辺の危険 やさしく紹介

準備あれば…

しかし2007年、市教育委員会所管の公民館が主催したキャンプで高知県の川を訪れた他校の児童２人が亡くなった。「もっと広くライフジャケットの大事さを伝えて準備が整っていれば、事故は防げたかもしれない」と考えた森重さんは、情報発信に取り組み始めた。

絵本を企画したのは2020年夏。新型コロナウイルスの感染が広がり、周りでは水辺の安全を学ぶ講習会が感染対策で中止に。しかし例年のように各地で子ども

専門家が助

森重さんはライフ
や大学の研究者
辺の安全に詳しい
人以上から助言を
語を構成。ライフ
を着た「ふう
水辺で遊びながら
ヤサンタと一
トーリーに仕立
担当した市居さ
も」が親しめる
色を使い、輪郭
描くことで、
ライフジャケ
法をわかりや
た。

森重さんは
ク を知ってお
イフジャケッ
いれば守る
がある。子
く、保護者
園、学校の
ひ手にと

「水の安全に詳しくなくても、絵本なら大人も子ども も、一緒になって、関心を高めてもらえるかもしれない」と話す。

ただ、絵本を作るのは初めて。そこで、森重さんが活動を以前から知っていた滋賀県の絵本作家・市居みかさん（54）に相談、出版を決めてもらい、作品を絵にしてもらった。

工夫したのは、見たことは気づけない水辺の危険を、子どもにもわかりやすく伝えることだった。

海では岸から沖に向かって流れる「離岸流」や、川でも急に深くなったり、想像以上に流れが速くなったりする。溺れた子どもたちを助けようとして入ると、自分も溺れてしまう危険がある。

文：森重裕二　絵：市居みか

定価：本体 1,300 円+税
ISBN978-4-86412-211-5
C8737　NDC376　B5 判上製　24 頁

ご注文は FAX で右記弊社営業部までお願いします。**FAX：03 (3830) 0028**（担当：奥川）

注文書	ご注文冊数	書名
書店番線印 （条件：注文）	冊	**かっぱのふうちゃん** **ライフジャケットでスイスイ** 文／森重裕二　絵／市居みか 定価：本体 1,300 円＋税　ISBN 978-4-86412-211-5　C8737　NDC376

子どもの未来社　〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-28-7 昇龍館ビル 602　電話：03-3830-0027　FAX：03-3830-0028